

1 健康づくりの推進

目指す姿

県民が住み慣れた地域で安心して健やかに暮らしながら、要介護となる人や若くして亡くなる人を減らし、健康寿命の延長が図られる健康長寿県を目指します。

主担当部局(長)名
医療政策局長 林 修一郎

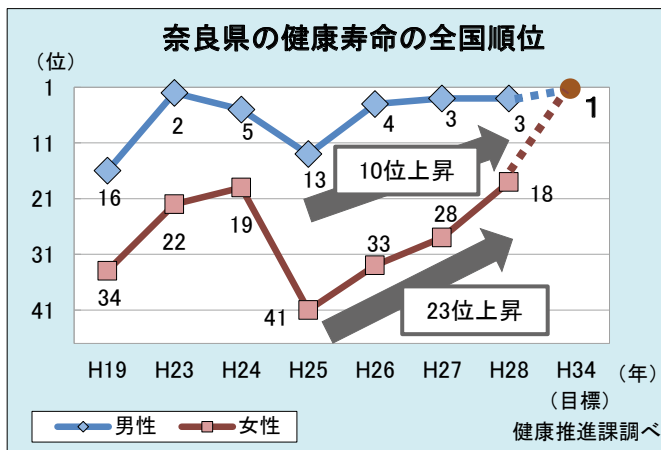


なら健康フェア(橿原市)

主な成果

- ・平成30年3月末までの県営健康ステーションの延べ来場者数は、162,657人(橿原)、60,065人(王寺)、活動量計2週間体験者数は、2,476人(橿原)、1,739人(王寺)となっており、県営健康ステーションの運営を通して、運動習慣の啓発に努めたこと等により、平成29年度の運動習慣者の割合は、男性が前年度より4.4ポイント(34.2%→38.6%)上昇しました。
- ・平成29年度の20歳以上で歯科医師による定期的なチェック(1年に1回)を受けている人の割合は、男性は前年度と比べて3.9ポイント(37.6%→41.5%)上昇しました。また、女性は前年度の水準(47.5%)を維持しました。

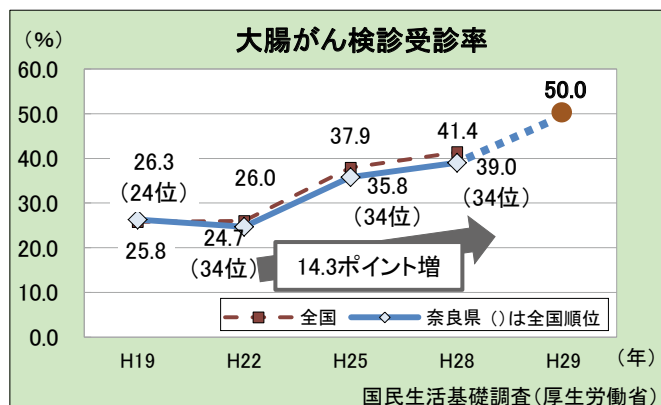
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	平成34年度までに、県民の健康寿命(65歳平均自立期間)を男女とも日本一にします。(H25年男性:13位、女性:41位)
成果	平成28年の健康寿命の順位は、男性3位、女性18位で、平成27年と比べて女性の順位が10位上昇しました。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①平成34年度までに、成人県民の喫煙率を9.9%に減少させます。(H23年:14.2%) ②平成29年度までに、特定健診受診率(国保)及び特定保健指導利用率(国保)を60%以上にします。(H23年度(国保)健診:25.1% 保健指導:14.2%) ③平成29年度までに、がん検診受診率50%を目指します。(H22年度:胃がん29.3% 肺がん20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん35.7%)
------	--



目標	平成29年度までに、がん検診受診率50%を目指します。(H22年度:胃がん29.3% 肺がん20.2% 大腸がん24.7% 子宮がん35.7% 乳がん35.7%)
成果	平成28年の大腸がん検診受診率は39.0%で、平成22年の受診率と比較して14.3ポイント(24.7%→39.0%)上昇しました。